

特集

- ・過疎地域における働き方改革プロジェクトについて

広報

なかとんべ

No.753

2022 9 September

○北緯45度夏祭り打ち上げ花火の様子
北緯45度夏祭りの詳細は、P6「まちの話題」をご覧ください。

小さな^{まち}中頼別の
しあわせをデザインする



過疎地域における働き方改革プロジェクト について

2021(令和3)年度

過疎地域における

働き方改革

プロジェクト

報告書

2022(令和4)年3月

中頓別町では、令和元年度から、「過疎地域における働き方改革プロジェクト」として、国の地方創生推進交付金を活用し、令和3年度までに町内における人的資源の把握やマッチング、サテライトオフィスの検討、中頓別町無料職業紹介所の開設、中頓別町特定地域づくり事業協同組合の設置などを行ってきました。令和4年3月には、この報告書がまとめられ、一部の取り組みが令和4年度からスタートしたコモンズ形成事業として、引き継がれています。

今月号では、報告書の内容を紹介して行きます。

過疎地域における働き方改革プロジェクトとは？

過疎地域における働き方改革プロジェクトに取り組むにあたり、中頓別町では、人口減少・少子高齢化にともなう人材不足などの課題に対して、ライドシェア(町民の自家用車を活用した相乗り)などのシェアリングエコノミーを通じた、課題解決に取り組んで

きました。

これまでの取り組みを加速し、町内のサービスや産業の担い手不足解消や起業の担い手創出についても取り組みを行うことで、限られた人的資源を有効活用し、多様な主体が兼業や副業、短時間労働など様々なスタイルで働ける「中頓別町働き方改革推進モデル」の構築、実践を通じて将来にわたり持続できる地域づくりを目指す取り組みとなっています。

過疎地域における働き方改革プロジェクトの取り組み

過疎地域における働き方改革プロジェクトの個別的な取り組みとして、①町内の担い手不足解消、②起業の担い手創出、③移動手段確保・維持のための担い手創出、④起業・人材ネットワークの構築があります。

①、②については、中頓別町無料職業紹介所の開設を通じて、「働く」、「住む」、「暮らす」、「育てる」をテーマにWEBサイトを開設し、中頓別町くらしとし

図 1 中頓別町働き方改革推進モデル



ごとの相談窓口として、求人情報や町の魅力の発信を行い持続可能な社会を目指しています。さらに、令和3年11月に設立された、中頓別町特定地域づくり事業協同組合では、地域の仕事を組み合わせ、複数の職務に就くマルチワーカーとして、季節や繁忙期に合わせて、一時的な人手不足を補うことが出来ます。仕事を組み合わせることで、安定的な雇用創出と暮らしの実現を図っていきます。また、組合職員は、中頓別町特定地域づくり事業協同組合から報酬を受け取りながら、様々な職種で経験を積むことが可能です。

③については、平成28年度より、「なかとんべつライドシェア」が実施されており、令和3年度の実績として、乗車回数290回、走行距離はおよそ3,600kmとなっています。ライドシェアでは、町内の買い物や通院の利便回数も多く、地域内の移動手段の1つとなっています。このため、ドライバー確保の取り組みを継続しています。

④については、旧松田商店の利活用についての検討を進めています。コワーキングスペースなど様々な検討を重ねており、今後、利活用についてさらに検討を進めます。

中頓別町働き方改革推進モデルの提示

中頓別町無料職業紹介所の仕事のマッチング機能や中頓別町くらしとしごとの相談窓口の移住相談・情報発信機能により、町内外の人材と町内事業所のプラットフォームが形成されました。このことにより、過疎地域でありながら、担い手不足に対応する柔軟な仕組みが整備され、この仕組みを活用しつつ、中頓別町が持続可能な地域社会を目指していきます。また、「共助」の部分を含めて、相談・マッチング機能の拡大を継続的に取り組んで行く予定です。次号では、コモンズとは何かなど、コモンズ形成事業をご紹介します。



ゴールドラッシュ 砂金掘り体験場OPEN

7月20日、パーチャン川の砂金掘り体験場がオープンしました。

砂金掘り体験場オープン初日に、札幌市から訪れていた男性の方は、中頓別町の砂金掘り体験場では、砂金が出やすいので、初心者の方にもお勧めできる砂金掘り場であると話されていました。話された通り、すぐに砂金を見せてくれました。



お祭り気分 子ども縁日の開催

7月23日、中頓別町民センターで子ども縁日が開催されました。

当日は、中頓別町商工会青年部が企画し、多くの子ども達やその保護者の方が来ており、親子そろって、子ども縁日を楽しんでいました。カタヌキやスマートボール、射的、ストラックアウトなど多くの出店を出していました。



たくさんの絵本を載せて 絵本キャラバンカーが認定こども園に来町

7月26日、中頓別町立認定こども園に絵本の里(剣淵町)から絵本キャラバンカーが訪れました。

当日は、0歳から5歳の就学の園児たちや地域の就学前の親子、放課後こどもプランの子どもたちを対象に読み聞かせ会や絵本キャラバンカーの中を開放し、見学などを行っていました。



読み聞かせ会では、「おおきく おおきく おおきくなあれ」や「おおきなかく」をおはなし隊から朗読されていました。外での読み聞かせであったため、子どもたちは、朗読を聴きながら、大変、リラックスした様子でした。

キャラバンカーには、500冊の絵本があり、子どもたちは、喜んで絵本を選んでいました。





いよいよ夏休み！ ラジオ体操の開催

7月26日から8月4日までの10日間、朝6時30分から、中頓別町青少年柔剣道場前の駐車場でラジオ体操が開催されました。

初日は、保護者や子どもたちが大勢集まり、ラジオからの掛け声に合わせて、腕の振り上げやジャンプといった運動を元気がつらつに取り組んでいました。体操を終えた子どもたちは、すがすがしい表情でした。



有事に備えて 認定こども園避難訓練

7月29日、認定こども園で、避難訓練が行われました。

ボイラー室から出火したこと想定し、南宗谷消防組合中頓別支署の職員と一緒に避難訓練を行いました。煙を吸わないように口元に手を当てながら、速やかに先生たちと一緒にウッドデッキから外に出て行くことができました。最後は、皆で赤色や黄色の放水を見学しました。



陸上自衛隊から 感謝状が授与されました

7月29日、中頓別町役場で陸上自衛隊 山崎潤 名寄駐屯地司令より、中頓別町へ感謝状が手渡されました。

小林生吉町長就任以来、自衛隊との各種行事に積極的に参加されたことや令和3年には、自衛隊との防災訓練の実施など関係部外機関と自衛隊との連携強化を図ったことなどにより、感謝状と盾が手渡されました。



ハワイの風を感じて ハワイアンナイト

7月29日、中頓別町民センター前の広場で、ハワイアンナイトとして、ウクレレの演奏やフラダンスの講座が開催されました。

大人から子どもまで、多くの方が参加し、フラダンスの基本をダリンさんより習った後、皆で「涙そうそう」に合わせて、フラダンスを踊りました。



将来はプロゲーマー eスポーツ大会開催

7月30日、中頓別町民センターで、eスポーツ大会が開催されました。

eスポーツとは、ビデオゲームなどを使った対戦をスポーツ競技として捉えるもので、今回の種目は、「大乱闘スマッシュブラザーズ」でした。

参加した、小中学生たちは、自分のコントローラーで対戦を楽しんでいました。



旧松田商店利活用 野菜のフリーマーケット

7月30日旧松田商店で、野菜のフリーマーケットが開催されました。

当日は、5件の家庭菜園から大根やネギ、なんばん、トマト、コールラビ、ブライトライトなどたくさん種類の野菜を提供してもらい、販売を行っています。フリーマーケットに訪れた町民の方たちは、実際に手に取り野菜を選んでいました。



フリーマーケットや出店が出展&花火も打ち上げ 第41回北緯45度夏祭りが3年ぶりに開催

8月6日、中頓別町天北線メモリアルパークで夏祭りが開催されました。夏祭りが開催されたのは、3年ぶりとなります。

15時から町内の事業者による出店やフリーマーケットが出店していました。また、スマートボールもあり、子どもから大人まで、久しぶりのお祭りを満喫している様子でした。



歌謡ショーでは、枝幸町よりエンドレスや歌手の智恵子・クラベスや川上雄大が会場を盛り上げていました。また、ビンゴゲーム大会も開催されており、会場が一体となって、夏祭りを楽しんでいました。

夏祭りのフィナーレには、花火も打ち上げられました。会場からは、打ち上がると同時に大きな歓声があがりました。





皆に元気を注入！ パワーチャージパレードの開催

8月19日、認定こども園の園児たちが、パワーチャージパレードを行いました。

当日は、認定こども園前から園児達が出発しました。

48人の園児達は、中頓別町役場前や社会福祉法人南宗谷福祉会長寿園の前で、園児たちが手作りした牛柄のおみこしを担いで、町民の皆さんに可愛らしい姿を披露していました。

園児たちは赤色と青色のハッピー姿で、この日までにたくさん練習をして覚えた踊りを大勢の観覧者の皆さんの前で披露していました。踊りの後には、一礼をしたり、手を振ったりなどの園児たちの内面からあふれ出る無邪気な姿に観覧された方々は、園児たちから元気が注入され、笑顔があふれていました。

偉大な開祖 榎原民之助さんの法要

8月19日、榎原民之助入植の地で法要が行われました。

榎原民之助さんは、1865年、広島県大崎上島の東野村で生まれました。明治時代、頓別原野の調査、開墾を行い、麦やソバ、カボチャ、豆、馬鈴薯などを栽培し、大豊作となったそうです。これをきっかけに、定住者が増えていき、現在の中頓別町の基礎が築き上げられました。

安全運転を心がけましょう 交通事故死亡者慰霊祭

8月19日、上駒地藏尊で、交通事故死亡者の慰霊祭が執り行われました。

関係者などが出席され、焼香が焚き上げられるなどされました。お盆を過ぎ、交通意識も高まっているなか、ドライバーの皆さんは、今後も気を緩めず、信号規則などの交通ルールを守り、安全運転を心がけましょう。



老齢年金の手続きについて

老齢基礎年金は、10年以上受給資格期間がある方が65歳から受給できます。

老齢厚生年金は、老齢基礎年金の受給資格期間があり、厚生年金保険の被保険者期間がある方が65歳から受給できます。厚生年金保険の被保険者期間が1年以上ある場合は、65歳になるまで特別支給の老齢厚生年金が受給できます。（生年月日に応じて受給開始年齢が異なります。）

年金は受け取る権利（受給権）ができたときに自動的に始まるものではなく、年金請求手続きが必要になります。

年金請求書の送付

- ・受給開始年齢に達し老齢年金の受給権が発生する方には受給開始年齢に到達する3か月前に年金を受け取るために必要な年金請求書が届きます。

年金請求書には年金の加入履歴が記録されているので記録を確認して「もれ」や「誤り」がある場合は事前に年金事務所までお問合せをしてください。

年金請求書の提出

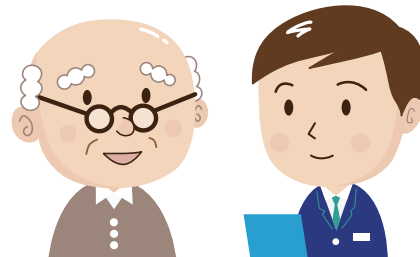
- ・年金請求書に必要事項を記入し、受給開始年齢の誕生日の前日以降に添付書類とともに年金事務所または役場窓口に提出してください。
- ・年金を請求せず年金を受けられるようになったときから5年を過ぎると法律に基づき5年を過ぎた分の年金については受け取れなくなる場合があります。

年金の受け取りについて

- ・年金請求書の提出から約1～2か月後に「年金証書・年金決定通知書」が届きます。「年金証書・年金決定通知書」が届いてから1～2か月後に年金のお支払いのご案内が届き、年金の受け取りが始まります。

年金の繰り上げ受給について

- ・老齢基礎年金は原則として65歳から受け取ることができますが、希望すれば60歳から65歳になるまでの間に繰り上げて受け取ることができます。
- ・繰り上げ受給の請求をした時点に応じて年金が減額され、その減額率は一生変わりません。



詳しく知りたい時や、わからないことがあった時は、
稚内年金事務所 お客様相談室（0162-74-1000）
または日本年金機構ホームページをご覧ください。

お問い合わせ 住民グループ（01634-8-7660）